

親愛なる intacs e.V. メンバー、SPICE アセッサー、そして intacs® の友人の皆様！

今年も年の瀬が近づきましたが、SPICE の最新動向についてまとめた 2025 年最後のニュースレターをお届けいたします！

本号では、洞察に満ちたホワイトペーパー「Automotive SPICE® の経験と収益性」が新たに公開されたことをお知らせします。現在 intacs® 公式ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

さらに、「UCAT – 有資格アセッサー研修の統合」、「Agile SPICE」、そして「データ管理 SPICE」を含む専門ワーキンググループ(WG)の最新情報も共有します。彼らは、プロセスアセスメントとアセッサー資格認定の未来を引き続き形作っています。

ぜひお読みください！

iNTACS® コミュニティの皆さまの継続的なご参加とご支援に、心より感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

— iNTACS “情報管理”WG 一同

目次

エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボードからのお知らせ	3
ホワイトペーパー「Automotive SPICE® の経験と収益性」の発行	3
ASPICE® コーヒートーク	3
組織 SPICE「被観察ガイドライン」	4
「データ管理 SPICE」新版リリース	4
手順書およびテンプレートの変更	4
ワーキンググループ(WG)からのお知らせ	5
新設“UCAT- 統一コンピテントアセッサートレーニング”WG からのお知らせ	5
“Agile SPICE”WG からのお知らせ	5
“データ管理 SPICE”WG からのお知らせ	6
“機能安全”WG からのお知らせ	7
各国のコミュニティからのお知らせ	9
初の NA SPICE CON@米国・ノバイ	9
Gate4SPICE@ルーマニア・ティミショアラ	10
第 2 回 ASCON x 第 10 回 KSNC@釜山	12
SPICE 関連カンファレンスおよびイベント紹介	14
サファイアマスタークラス	14
免責事項、商標および商号	15
商標	15
翻訳	15
ご意見およびフィードバック	16

エグゼクティブボードおよびアドバイザーボードからのお知らせ

ホワイトペーパー「Automotive SPICE®の経験と収益性」の発行

遂にホワイトペーパー「Automotive SPICE®の経験と収益性」が、iNTACS®より公式に発行されたことを慶んでご報告申し上げます。コミュニティからの強い関心と、2025年2月から4月にかけて収集された洞察に富んだフィードバックを受け、最終報告書が現在、DOI（デジタルオブジェクト識別子）を用いてZenodoにて公開されています。

DOI リンク: <https://doi.org/10.5281/zenodo.17505778>


このホワイトペーパーは、ニュースレター前号(25年8月号)で共有された要約を拡張し、ROI（投資収益率）のパターン、各エンジニアリング分野で認識された利益、およびAutomotive SPICE®導入が品質と顧客満足度に与える長期的効果について、詳細な情報を提供しています。

組織、アセッサー、およびプロジェクトリーダーの皆様は、是非とも本資料をご高覧いただき、Automotive SPICE®がどのように開発効率の向上、障害率の低減、そして顧客満足度の向上に貢献するかについての理解を深めていただくようお願いいたします。

このホワイトペーパーは、iNTACS®のウェブサイトからも以下の直接リンクを通じて入手可能です。

リンク: <https://intacs.info/spice-center>（ホワイトペーパーの掲載サイト）の下段にある[直接ダウンロードリンク](#)

貴重なご貢献をくださったご回答者の皆様に、改めて感謝申し上げます。皆様のインプットは、Automotive SPICE®が業界全体に与える実用的な影響に関する視点を広げる上で、引き続き貢献しています。

	<p>担当者： Mario Herberger (mario.m.herberger@intacs.info) ホワイトペーパー著者</p>
---	---

ASPICE® コーヒートーク

iNTACS®は現在、経験豊富なアセッサーやインストラクターが企画する「コーヒートーク」の開催を、パイロットフェーズとして支援しています。私たちはこの仕組みを、ゆくゆくはiNTACS®公認イベントとして確立する方向で検討中です。そのためにはこの仕組みが満たすべき、実施時間や内容、参加方法に関するルールの整備が必要です。

初回セッションのテーマは、「官僚主義（Bureaucracy）対スピード - 我々には実際どれほどの文書が必要なのか？」でした。議論の焦点は、文書化と開発スピードの維持との間の適切なバランスを見つけることでした。紙の作業が多すぎるとプロジェクトが遅れる可能性がある一方、少なすぎると長期的には深刻なコンプライアンス問題や品質リスクにつながる可能性があります。この意見交換では様々な視点が議論され、活発な情報交換と交流が行われました。

今後も引き続きこの活動の進捗についてご報告してまいりますので、どうぞご期待ください！

組織 SPICE「被観察ガイドライン」

「組織 SPICE」WG は、組織 SPICE PRM/PAM V4.04 モデル、組織 SPICE ガイドライン V2.02、および被観察アセスメントガイドライン V2.01 に関する作業を完了しました。本規格は WG によって最終決定され、アドバイザリーボードによって承認されました。様々なパートナーからの要望により、本 PAM/PRM モデルの過去バージョンは純粋なモデル部分とガイドライン部分とに分割されました。なお、「被観察アセスメントガイドライン」については、iNTACS®による公式リリースや積極的な推奨の予定は特にないものの、トレーニングの一部として存続します。「被観察アセスメントガイドライン」の使用は、ご要望に応じて可能です。

「データ管理 SPICE」新版リリース

この度改訂された「データ管理 SPICE PRM/PAM V2.0」は、iNTACS®ウェブサイトの[こちら](#)よりダウンロードいただけます。

手順書およびテンプレートの変更

本項では最近公開された iNTACS®の手順書やテンプレートの最新情報をまとめます。今後手順書の新規作成時あるいは改定時には、新ルールの適用開始日が明確に判別できるよう、必ず「リリース日」と「発効日」を併記することになります。

手順書・テンプレート・ リンク	新版	リリース 日	発効日	リリースノート（特記事項）
費用体系 (リンク)	5.9	2025- 09-19	2025- 09-19	<ul style="list-style-type: none"> 相互認証の追加
認証手順書 (最新版 V10.8)	V10.10	近日中	近日中	<ul style="list-style-type: none"> 3.4.1 項中、「最後のプロビジョナルアセッサ(再)認証後に取得した EE のみが有効」の削除（PA には無効となるため） インストラクター認証統一基準
EE ログテンプレート (リンク)	V7.9	2025- 10-24	2025- 10-24	<ul style="list-style-type: none"> ISO/IEC 15504 を ISO/IEC 33061 に置換 アセッサ資格有効期間の追加

ワーキンググループ(WG)からのお知らせ


新設“UCAT- 統一コンピテントアセッサートレーニング”WG からのお知らせ

intacs®では 2025 年 6 月に新しい“UCAT- 統一コンピテントアセッサートレーニング”WG を創設いたしました。現在コンピテントアセッサ (CA) トレーニングは Automotive SPICE®向けのみが定期的実施されていますが、一方で ISO 33061 や「IT サービス管理のための SPICE」向けの CA トレーニングについては、参加者不足により開催がままならない状況が続いています。iNTACS®アドバイザリーボードではこの現状を打開するために、CA トレーニング教材を可能な限り複数の PAM (プロセスアセスメントモデル) にとって共通化を図ることを決定しました。

この新 WG の目標は統一トレーニング教材の作成ですが、試験については以下の通り個別に用意されます。

- VDA-QMC® が実施する Automotive SPICE® の CA 資格認定
- ECQA® が実施する ISO/IEC 33061 の CA 資格認定
- ECQA® が実施する SPICE for IT Service Management の CA 資格認定

ご質問や WG 参加希望、または追加のご要望などがございましたら、ご遠慮なく本 WG のリーダーまでお知らせください。

	<p>担当者： Kosmas Kopmeier (kosmas.kopmeier@intacs.info) “UCAT- 統一コンピテントアセッサートレーニング”WG リーダー</p>
---	---

“Agile SPICE”WG からのお知らせ

Agile SPICE の未来を共に築きましょう！

今後 Agile SPICE を更に洗練・充実させながらバージョンアップして行くためには、皆様の洞察と経験が不可欠です。Agile SPICE WG には、企業や地域、製品ドメインの垣根を越えて Automotive SPICE® 専門家とアジャイル専門家らが集い、多様性に富んだコミュニティが形成されています。私たちは一丸となって、このプロセス参照モデル (PRM) が自動車業界とアジャイルコミュニティの双方に最大価値をもたらすよう努めています。

そこで、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。

- 現在の Agile SPICE のプロセスとトレーニング教材は、どの程度明確で役立つと感じていますか？
- プロジェクトの現場でどのような面が特にうまく機能していますでしょうか？
- どの個所が改善すべき、あるいは不明確でしょうか？
- 追加すべきアジャイルプラクティスやプロセス領域はありますか？
- Agile SPICE を現場の日常業務において、さらに実践的で価値あるものにするにはどうすればよいでしょうか？

是非数分のお時間を割いていただき、短いアンケートにて皆様の視点を共有してください。皆様からのフィードバックは、更なる Agile SPICE 進化のための糧となります。

力を合わせて Agile SPICE を実際のアジャイル開発に即した、より効果的で現場に密着したものにしていきましょう。

アンケートはこちらからご回答ください: <https://www.surveymonkey.com/r/PTB57HG>

	<p>担当者： Lukas Schneider (lukas.schneider@intacs.info) "Agile SPICE"WG リーダー</p>
--	---

"データ管理 SPICE"WG からのお知らせ

データには少し「味付け」が必要だから

過日リリースされた最新版「データ管理 SPICE」には、データ関連プロセスを評価し、改善するための包括的なフレームワークが提供されています。このモデルは柔軟な運用ができる設計となっており、Automotive SPICE® PAM 4.0 のプラグインとして統合的なプロセスアセスメントに使用できるばかりでなく、データ管理だけに特化した評価のためのプロセスアセスメントモデル（PAM）およびプロセス参照モデル（PRM）としても使用可能です。



この文書は[こちら](#)よりダウンロード可能であり、このフレームワークの効果的な導入と適用をサポートするための最新トレーニングも提供されています。

現在、データ管理の基礎知識に関する新しい教育体系も開発中です。この教育は経営層、プロセスオーナー、データ実務者、アセッサなど、多様な利害関係者に向けてカスタマイズされた役割別モジュールを提供します。これにより、どんな方でも組織内でデータ管理 SPICE を適用し改善するために必要かつ、自身の責任に関連する知識と能力を確実に習得できるようにします。

特別トピック：なぜデータはソフトウェアではないのか！

データとソフトウェアは、現代のデジタルシステムにおいてどちらも不可欠なコンポーネントですが、その本質、機能、ライフサイクル、および利用方法において根本的に異なります。

データが原材料を提供するのに対し、ソフトウェアはデータを処理し、意味のある出力へと変換する構造化された仕組みです。

本質：

データ：未加工で処理されておらず文脈に依存します。それは世界に関する事実や観測結果を表しますが、解釈されるまでは固有の意味を持ちません。数値、テキスト、画像、センサー測定値など、様々な形で存在します。


ソフトウェア：機械に実行すべきタスクを伝えるためにプログラミング言語で記述された構造化された命令（コード）で構成されています。能動的・論理的・目的駆動型であり、システムがデータを処理したり、ユーザーと対話したり、特定の機能を実行したりすることを可能にします。

機能：

データ：分析、意思決定、およびシステム運用を支えるインプットとして機能します。価値を引き出したり意味を導き出したりするためには、処理または分析される必要があります。

ソフトウェア：データを処理、操作、変換して結果を生成し、タスクを管理し、ユーザーインターフェースを作成する仕組みです。これは、問題解決やプロセス自動化のためのロジックやアルゴリズムの実行を可能にします。

続きは次回の情報レターにて！

	<p>担当者： Thomas Sievers (Thomas.Sievers@intacs.info) "データ管理 SPICE"WG リーダー</p>
---	---

“機能安全”WG からお知らせ

動機と背景

これまで私たちの共同作業は、Automotive SPICE®、機能安全監査、および機能安全アセスメントを、現場においていかに効果的に連携させることができるかについて研究してまいりました。アセスメント実務、監査の期待事項、および証拠生成モデルの詳細な比較を通じて、重複低減、トレーサビリティ向上、エンジニアリングガバナンスの一貫性強化のための明確なヒントを見出しました。また私たちは「個別アセスメント」から「連携的監査」や「統合的融合アプローチ」に至るまで、いくつかの協調モデルを調査しました。その結果、プロセス能力評価と安全評価を連携することで、業界がより大きな利益を得ていることが確認されました。

これらの洞察を通じ、一つの必要性が浮き彫りになりました。つまり、現場とアセッサの指針となる一連のガイドライン、そして組織全体にわたって一貫性があり、スケーラブルな評価をサポートできる統合プロセスアセスメントモデル（PAM）を開発することです。現在進行中の作業は、これまで分析を直接引き継いだものです。

「ガイドライン」チーム

「ガイドライン」チームは、機能安全と Automotive SPICE® 関連プロセスの融合のためのガイドライン確立を目的として、作業を開始しました。本チームでは、既存のアプローチと PAM チームが作成中の新しいアプローチの系統的な比較に着手しています。この分析を支援するための評価基準が定義されており、今後の専門的な分析フェーズで適用される予定です。

この技術的分析と並行し、どのような利害関係者が関連するかを特定し、各グループに合わせた基準とベストプラクティスを文書化しています。これらの成果は、一貫性のある提案スキームに統合され、その指針が多様なエンジニアリングおよび品質管理環境で確実に利用可能となるようにします。

「PAM」チーム

並行して「PAM」チームでは、統合プロセスアセスメントモデル（Integrity Process Assessment Model）の開発に着手しました。目下、モデルコンセプトの定義と最終決定に取り組んでおります。このコンセプトは、確立されたアセスメント原則への準拠を担保するために、ISO 33000 シリーズとの照合レビューを受けています。また、今後のプロセス特性化に期待される詳細レベルを示す例として、SWE.3 プロセスの精緻化を進めています。

選定されたプロセスインスタンスのパイロット実装を通じて実践的な妥当性確認を行った後、参照プロセスフレームワークの改良に取り組みます。これには、大規模なアプリケーションに対する完全なカバレッジを確保するために、プロセス追加の要否評価も含まれます。目標は、新しいモデルが ISO 26262 に完全対応すること、すなわち「量産準備完了（mass-production readiness）」の達成であり、2027 年末の完了を目指しています。

結論

今回の活動フェーズでは、これまでの成果の継承発展を図りました。全フェーズまでに確立した概念的ベースラインのおかげで、上記両チームにおいては明確な方向性、構造化された手法、および共通理解をもって作業を進めることができます。私たちは本 WG の活動を通じ、参加組織全体でプロセス能力、機能安全の連携、およびエンジニアリングガバナンスを強化する、監査に対応可能な統合的ソリューションの実現に向けて前進しています。

本トピックにご関心をお持ち、あるいは本 WG 参画ご希望の方は、どうぞ本 WG までご連絡ください。

	<p>担当者： Hendrik Meyl (hendrik.meyl@intacs.info) "機能安全"WG リーダー</p>
---	---

各国のコミュニティからのお知らせ

初の NA SPICE CON@米国・ノバイ

第 1 回北米 (NA) SPICE カンファレンスは、2025 年 9 月 23 日と 24 日にミシガン州ノバイのサバーバン・コレクション・ショウプレイスにて開催され、北米、ヨーロッパ、アジアから自動車業界の名立たるリーダー、専門家、イノベーターらが一堂に会しました。

この 2 日間にわたる最高峰のイベントでは、General Motors、Stellantis、PACCAR、Dana、BorgWarner、Magna、DENSO、Bosch、Nexteer、Valeo、Luminar、AUMOVIO、Omnex、Knüvener Mackert、Korean SPICE Network、TÜV、ZF など、主要な OEM やサプライヤーによるプレゼンテーションとワークショップが行われ、業界全体にわたる専門知識の幅広さと深さが遺憾なく発揮されました。



初の NA SPICE CON@米国・ノバイ

洞察に満ちた基調講演と業界最新動向

基調講演では自動車ソフトウェア、安全性、および品質の未来を占う重要テーマが扱われました。

- 「卓越性の推進：Automotive SPICE®、intacs®、そしてセキュアモビリティへの道」 – Thomas Liedtke 氏 (intacs®アドバイザーボードメンバー、ASPICE®・サイバーセキュリティWG リーダー)
- 「新しい自動車の時代、システム思考、そして ASPICE®内での協業」 – Chandrasekar Krishnamurthy 氏 (BorgWarner グローバル製品管理ディレクター)
- 「Automotive SPICE®ニュース」 – Jan Morenzin 氏 (VDA QMC 認証オフィス責任者)
- 「製造における機能安全と品質の実装」 – Theogene Lavergne Jr 氏 (General Motors 執行役員)
- 「ASPICE®に関する機能安全の視点」 – Mihir Shah 氏 (Dana Incorporated 機能安全スペシャリスト)

OEM によるプレゼンテーションやワークショップには、GM、Stellantis、PACCAR のリーダーに加え、AIAG、Bosch、Magna、Nexteer、Valeo、ZF、Luminar などのソートリーダーも登壇しました。

実践的ワークショップ

ワークショップでは、技術的および組織的な課題を深く掘り下げ、以下の分野に焦点を当てました。

- システムの定義とオーナーシップ
- ASPICE® 遵守の達成：サプライヤーの視点
- 組織 QMS への ASPICE®、機能安全、およびサイバーセキュリティ融合
- 開発におけるパラドックスとアセスメント全体の一貫性
- PACCAR のケーススタディ：ソフトウェア品質保証プロセスへの ASPICE® の適用

NA SPICE CON は iNTACS® 公認イベントとして、コンピテントまたはプリンシパルアセッサーの認証に重要な EE (Experience Evidence) も提供しました。

主催者およびスポンサー

Omnex の CTO 兼創設者であり、組織委員会の議長を務めた Chad Kymal 氏は、カンファレンスの成功について以下のように述べました。

「全世界から参加者をお迎えし、スポンサーの皆様の献身と幅広い Automotive SPICE® コミュニティの積極的な関与のおかげで、イベントは成功裡に執り行うことができました。」

カンファレンス委員会 (PACCAR、BorgWarner、Ford、VDA QMC、DENSO、iNTACS、GM、Stellantis、Magna、UL Solutions の代表者を含む) は、プラチナスポンサー (DENSO と Omnex) および一般スポンサー (Sharpen 360、Envorso、Knuvener Mackert) からの惜しみないご支援によりイベントが実現したことに、感謝の意を表しました。

2026 年 9 月 29 日と 30 日に開催される次回 NA SPICE カンファレンスへの参加にご興味がある方は、[NASPICE.net](https://www.naspice.net) | [intacs® Accepted Event](#) をご覧いただくか、組織委員会までご連絡願います。

	<p>担当者： Juan Webb (jwebb@omnex.com) iNTACS 米国代表</p>
---	---

Gate4SPICE@ルーマニア・ティミショアラ

2025 年 9 月 25 日、ルーマニアの Automotive SPICE® アセッサーコミュニティがティミショアラに集結し、「今日の自動車業界の VUCA ワールドにおける ASPICE® 4.0 の役割」と題された Gate4SPICE が開催されました。このイベントは Schaeffler が主催し、現地で初めて Gate4SPICE が開催されてから 10 周年を記念するものでもありました。

ルーマニアでの Gate4SPICE 初開催は、Continental 主催で 2015 年にティミショアラにて実現し、これを機にルーマニアの Automotive SPICE® コミュニティにおける継続的な協力と知識交換のサイクルが始まりました。

今回の中心テーマは、自動車業界の現状に深く根差したものであり、Automotive SPICE® PAM 4.0 規格が、昨今の複雑でダイナミックな課題に対して実際どのように対処できるかという点に焦点が当てられました。

イベントには、Schaeffler、Aumovio、Huf、Elektrobit、Magna Electronics、Flextronics など、この分野のトップ企業を代表する多様な Automotive SPICE® アセッサーが参加しました。会場は活気に満ち、理論的なプレゼンテーションと実践的なワークショップが組み合わされた、協力的な雰囲気でした。

講演は以下のような議題について行われました。

- 卓越性の推進：Automotive SPICE® と PAM 4.0 による自動車市場のトレンド — OSS（オープンソースソフトウェア）の利用を Automotive SPICE® に効果的に統合する方法に焦点を当て、新しい市場トレンドを意識したプレゼンテーション。
- Automotive SPICE® ポテンシャル分析の活用に関する展望と、Automotive SPICE® ポテンシャル分析モデルによる成功事例。
- Automotive SPICE® PAM 4.0 に向けたプロジェクトにおけるマインドセットの変化 — Automotive SPICE® PAM 4.0 が組織に与える影響を分析し、アセッサーコミュニティからの具体的な認識と経験を取り入れたセッション。
- 品質マネージャーの羅針盤：VUCA の自動車業界における AI、Automotive SPICE® PAM 4.0、およびコスト圧力への対応。（訳注：VUCA は Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字）



Gate4SPICE@ルーマニア・ティミショアラ

これらのプレゼンテーションに加え、Gate4SPICE のプログラムには、参加者間のアイデアやベストプラクティスの交換を促進するために企画された、3 つのインタラクティブなワークショップも含まれていました。

活動的な Automotive SPICE® コミュニティが、規格の要求事項を具体的で効率的かつ革新的なプラクティスへと転換するためには、このような場が大変重要であるとの認識を新たにしました。

担当者：



Alina Ilin (alina.ilin@reg.intacs.info)

Mihai Banea (mihai.banea@vitesco.com)

iNTACS ルーマニア代表

第 2 回 ASCON x 第 10 回 KSNC@釜山

去る 11 月 12 日&13 日、韓国のシグニエル釜山にて、第 2 回 ASCON と第 10 回 KSNC とが併せて開催されました。

450 名もの参加者が一堂に会して互いに友好と専門知識の交流を深め、幅広い話題～プロセスと製品品質、SDV、ASPICE®/CS/FS 間の融合、AI 活用、UNR177 など～について活発な議論が行われました。

今回の成功は、全世界からの著名な講演陣、特にヒョンデ・キア、メルセデスベンツ、BMW およびフォードといった OEM からの貴重なご貢献なしには成し得ませんでした。



Atmosphere at the 2nd ASCON*Speakers at the 2nd ASCON*

今回の盛会は、Automotive SPICE®への強い関心が韓国にとどまらず東アジア全体に高まっている証左となりました。

閉会式においては、第3回 ASCON を主宰する中国 SPICE ネットワークの議長・王博士へ ASCON の旗が引き継がれ、次回は上海にて2026年10月24日&25日に開催されることが発表されました。

去る9月に行われた第1回北米 SPICE CON では、世界のコミュニティ同士で講演者やスポンサーを共有することを通じて、シナジー的にお互いの成長を図ろうという約束が交わされました。

アジアにおける Automotive SPICE®コミュニティが、全世界の自動車産業の発展に寄与することを願ってやみません。



担当者：

蔡光浩 (chekwanhgo@quantumassoc.co.jp)

iNTACS 韓国代表

SPICE 関連カンファレンスおよびイベント紹介

サファイアマスタークラス

サファイアマスタークラスへようこそ！


サファイアマスタークラスの目的は、既存の iNTACS® 公認知識交換プログラムを補完することにあります。形式としては 2 名から 3 名の登壇者を迎える 1 日間のオンラインカンファレンスであり、発表されたトピックについて議論し、さらに深掘りするためのワークショップも含まれます。誰もが短いプレゼンテーションを通じて、参加者らと知識を共有する機会を得ることができます。

このプログラムは頻繁かつ自立的に継続されることを目指しているため、少額の参加費が必要です。詳細については、イベントのウェブサイトをご覧ください。<https://www.saphirecertification.com/masterclass>

次回：SC052202EN（英語での開催）、2025 年 12 月 12 日 09:00～16:00 (中央ヨーロッパ時間 CET)

- サイバーセキュリティ・アセスメント（ルーディガー・バイルハルツ氏）
- CRA（サイバーレジリエンス法）の課題と可能性を理解する（ヨアヒム・リーダー博士）

参加者は EE-EP を取得できます。今後のマスタークラスイベントでは無効となりますので、予約はお早めどうぞ！

	担当者： Hendrik Meyl (masterclass@saphirecertification.com)
---	---

免責事項、商標および商号

ニュースレターの登録やキャンセルは、intacs.info にログイン後、“プロフィール編集-ニュースレター/言語”にて行えます。

商標

商標の使用に関し、各パートナーと合意した以下の詳細についてご留意願います。

intacs®、Agile SPICE®、Automotive SPICE®、VDA® QMC®、ECQA®は登録商標です。左記商標および関連ロゴの使用は、いかなる種類の証明書にも使用が禁止されています。

他の目的でロゴを使用する際には、必ず事前に当該権利保有者から書面による承認を得る必要があります。いかなる違反もアセッサ資格の喪失や、法的措置を引き起こす可能性があります。




アセッサ資格認証の初回および更新申請の際に署名される「アセッサ資格認証申請書」中の記述にもご留意願います。

この文書で使用されている商標：

- Automotive SPICE®, ASPICE®, VDA® および QMC® は VDA Verband der Automobilindustrie e.V., 10117, Berlin, DE の登録商標です。
- iNTACS®, intacs® および Agile SPICE™ は International Assessor Certification Scheme e.V. (intacs e.V.), 51147, Köln, DE の登録商標です。

翻訳

すべての翻訳は正式版である英語版ニュースレターに基づいています。英語版並びに全翻訳版とも intacs e.V.の著作物です。

	<p>中国語翻訳者： Yawen (Evan) Hou (qchaier@126.com) iNTACS “情報管理”WG メンバー</p>
	<p>日本語翻訳者： 蔡光浩 (chekwangho@quantumassoc.co.jp) iNTACS 韓国代表</p>
	<p>韓国語翻訳者： Jeong Kee Kim (jkim@cnbis.co.kr) Korean SPICE Network 副会長</p>

ご意見およびフィードバック

皆様からのフィードバックをお待ちしております！ 下記メールアドレスまで、ぜひご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

Thomas Kömmerling & “情報管理”WG より

	<p>担当者： Thomas Kömmerling (thomas.koemmerling@intacs.info) iNTACS “情報管理”WG リーダー アドバイザーボードメンバー</p>
---	--

International Assessor Certification Scheme e.V. (iNTACS e.V.), Herderstr. 7, 51147 Köln, Germany